

熱海市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン(案)(概要)

「日本でナンバー1の温泉観光地づくり」、「住まうまち熱海づくり」による地方創生の推進

～ 減少し続ける人口・上昇し続ける高齢化 ～

- 本市の人口は約38,000人から13,700人程度(2060年)まで減少
- 本市の高齢化率は43.5%から56.5%(2060年)まで上昇
- 若者の転出超過(社会減)・出生数の減少(自然減)
- その結果、経済規模の縮小や生活水準の低下を招くことが危惧されている

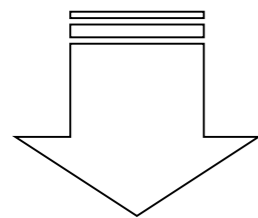
～ 人口減少問題克服・経済縮小の克服 ～

- ① 熱海市の魅力伝え、更に拡充する。(観光客・別荘所有者・若者の定住)
- ② 本市から転出の抑制する。(働きがいのある職場の確保、仕事と家庭の両立)
- ③ 若い世代の就労・結婚子育ての希望を実現する。(仕事と子育ての両立)
- ④ 地域の特性に即して地域課題を解決する。(熱海の特徴を最大限に活かす)

目指すべき将来の方向

◎ 本市人口の長期的な見通し (社人研推計ベース)

- 人口 2060年 13,739人
- 高齢化率 2060年 56.5%



- ・合計特殊出生率 2020年に1.50
- ・社会減 2020年に若年層を50%削減
- ・滞在人口率(平日) 2020年に2.0
- ・滞在人口率(休日) 2020年に2.2

◎ 人口減少問題の克服 ～永遠に持続する熱海市～

- 人口 2060年 2万人程度の人口を確保
- 高齢化率 ピークは2040年47.1%まで減少、以後減少を続け、2060年に40.1%と現在(43.5%)よりも低下
以後、年齢3区分(年少・生産・老年)別人口割合の安定

◎ 経済縮小の克服 ～常に活気ある熱海市～

- 観光客、別荘所有者により一時的に減少する人口による経済縮小を阻止

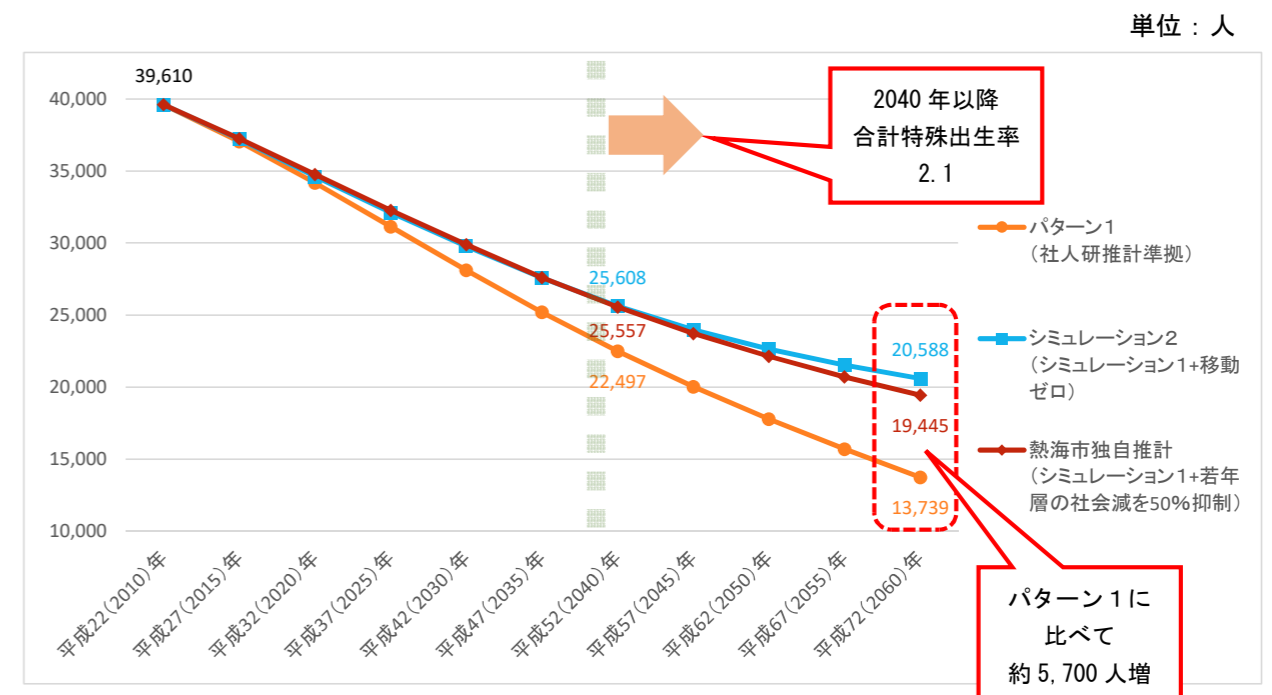


図1 将来人口の長期的な見通し

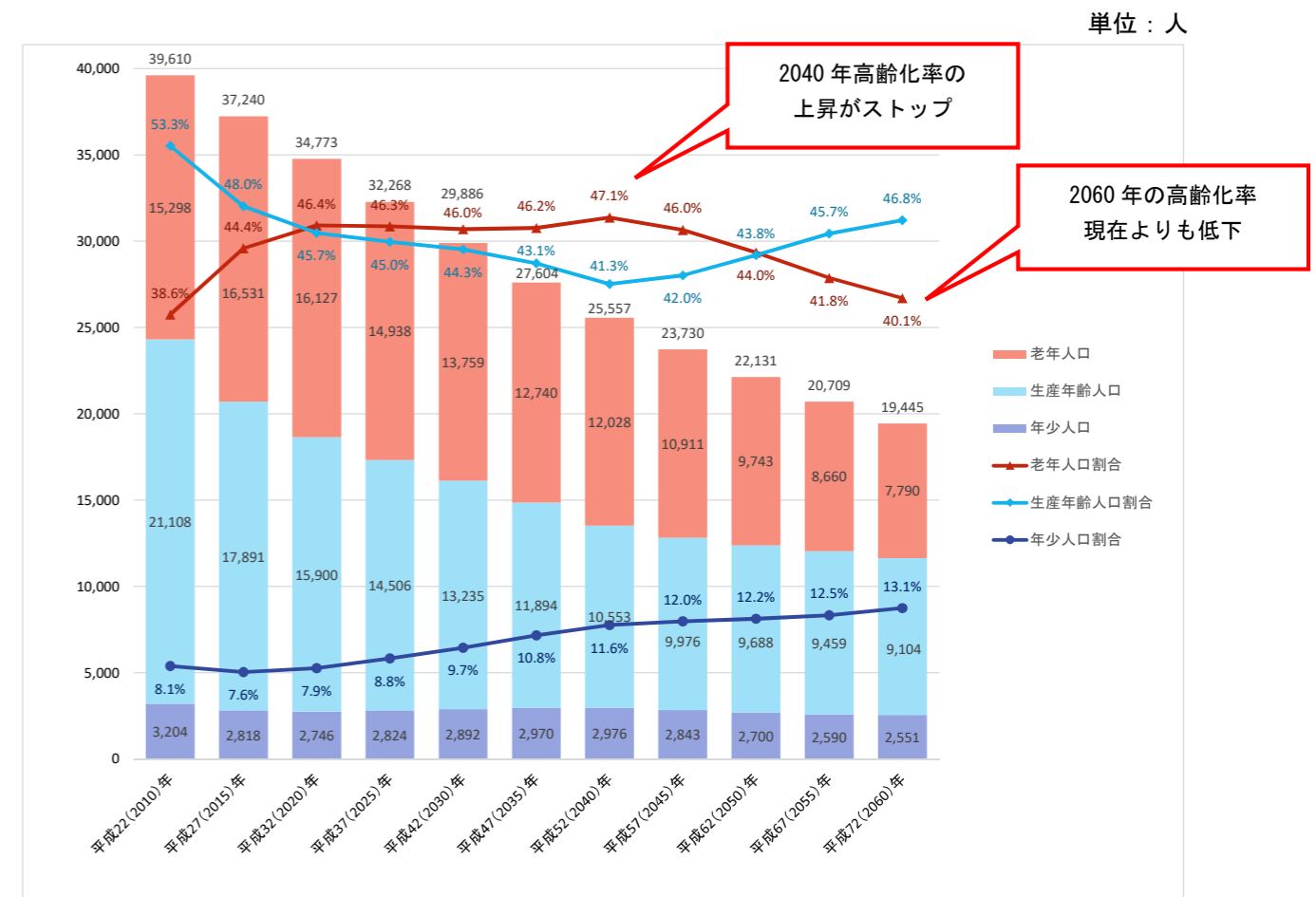


図2 人口の将来展望 (年齢3区分別人口及び割合)